

IBの教育原理を活かした文理融合教育による、 科学的コンピテンシーを備えた“Agents of Change”の育成



東京学芸大学附属国際中等教育学校
第Ⅲ期研究開発概念図



卒業生・同窓会による研究支援

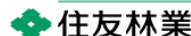
研究相談/論文や発表の助言/
サイエンスカフェ等の講師

外部連携

理化学研究所/住友林業/
NPO法人ホールアース自然学校



木と生きる幸福



科学に対する豊かな認識を持ち、現代的な
諸課題を科学的に捉える視座をもたらす

文理融合Agentsとして活躍する卒業生

例. 街づくりに関する探究

→慶應義塾大学法学部

→東京大学大学院工学系研究科（修士・博士）

「エシカル消費」について研究

→クィーンズランド大学国際関係学・文化人類学

→東京大学大学院工学系研究科（修士）兼国土交通省職員

主体的に課題に取り組むために
必要なスキルとAgencyを育てる

科学技術による社会変革を目指す
“Agents of Change”の育成

○ISSチャレンジの再編・深化

文理融合にも光を当てた研究部門の改編/
統合されたルーブリックの開発/校内支援
組織の発展的統合/卒業生人材バンクや
東京学芸大学SSHサポートオフィスと
連携した組織的な支援

○社会にはばたく研究の機会創出

SSIB講座/サイエンスカフェ/研究相談会/
スタディツアー/学術研究誌への投稿促進

仮説
3

ISSチャレンジを中核に据えた
高度に挑戦的なプログラムの開発

成果の普及・発信

Webサイトでの情報発信
公開研究会・授業研究会の実施
SS科目の開発研究成果物
研究紀要の公開

持続的なSSH事業の推進



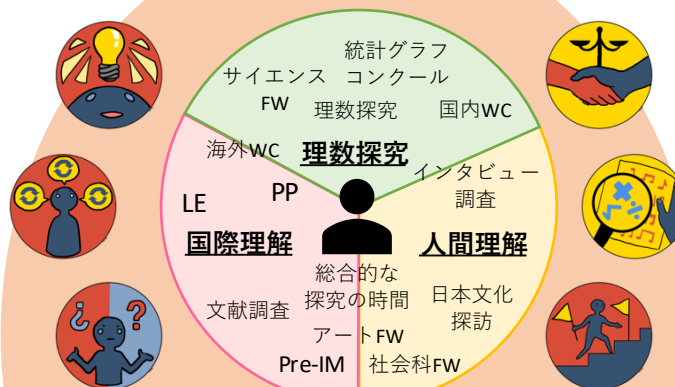
生徒の研究活動を支える財政基盤を確保する
方法の確立（競争的資金・寄付等）

仮説
1

教科の枠に閉じない概念的理解を
志向した授業や文理融合型の授業による
学習の転移を促す授業開発

仮説
2

6年間の体系化された本校独自の
国際教養プログラムの強化・活性化



○国際教養を基盤とした<ISSの探究>カリキュラムの整備
6年間一貫したスキル育成の仕組みの体系化/課題に応じた
スキルの明確化と獲得

○科学的視野と科学的思考を活かしたSA活動の復興
「日常の中」の科学への着目と社会変革への糸口の発見

○概念的理解を志向した授業

IBの教育原理を生かした教科等横断的な授業設計

○文理融合型の授業・新規科目開発

異教科の教員で構成される研究グループ制度に
基づく授業の協働設計/授業観察による授業評価

